

【日比谷花壇とハーモニックが共同企画】
日比谷花壇が選んだナチュラル&オーガニックな暮らしのスタイルを提案する
カタログギフト「LIFE STYLE BOOK」
10月23日(月)に発売

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、株式会社ハーモニック(本社:新潟県三条市、代表取締役社長:柄沢利文)と共同企画による、日比谷花壇が選んだナチュラル&オーガニックな暮らしのスタイルを提案するカタログギフト「LIFE STYLE BOOK」(5,600円、10,600円の2コース)を10月23日(月)から小売及び卸販売を開始します。

カタログギフト「LIFE STYLE BOOK」は、「こころに花さく、やさしいきもち。」をテーマに、生花、花鉢、ドライフラワー、インテリアグリーンの花のある暮らしを楽しむフラワーアイテムに加えて、「Usual~日々からだをつくるもの~」「Classy~集えばごちそう~」「Favorite~わたしを仕立てる品々~」「Comfortable~暮らしを楽しむということ~」の4つのカテゴリで、両社が選んだナチュラル&オーガニックな暮らしのスタイルを提案する商品をラインナップしています。今回は5,600円(170ページ、約360点掲載)と10,600円(154ページ、約320点掲載)の2コースを販売します。

当社はこれまでお祝いや記念日などのギフトや日々の暮らしの中でのコーディネートなど様々なシーンにおいて、花とみどりを通じた豊かなライフスタイルを提案しています。当社が大切にしてきた「ふだんの暮らしに豊かさをプラスし、自分らしいライフスタイルを送ってほしい」という想いをこめたのが、この「くらしのスタイルブック」です。

家族や友人の誕生日や記念日のギフトとしてはもちろん、結婚式の引き出物や内祝い、香典返し、お中元・お歳暮の他、法人のノベルティや株主優待ギフトなどのビジネスギフトとしてもお勧めです。

当社は、様々なシーンでご利用いただけるカタログギフト「LIFE STYLE BOOK」を通じて、販路を広げ、新たな顧客層の開拓を進めていきます。

【カタログギフト「LIFE STYLE BOOK」商品概要】

価格:	○5,600円コース(税別、本体5,000+システム料600円)	170ページ、約360点掲載
	○10,600円コース(税別、本体10,000+システム料600円)	154ページ、約320点掲載

カタログサイズ: B5版(182×257mm)

【小売販売の概要】

販売開始日: 2017年10月23日(月)

取扱い: ◆オンラインショッピングサイト「hibiyakadan.com」

◆フリーダイヤル

<http://www.hibiyakadan.com/>

0120-001187(9:00~19:00)

※日比谷花壇の店舗での取扱いは順次展開していく予定です。

※本商品の取扱いに関する法人からのお問合せ

(株)日比谷花壇 法人事業部 TEL 0120-335-330 *土日・祝日・夏期冬期休業期間 除く



10,600円コース 表紙

【カタログギフト「LIFE STYLE BOOK」 詳細】



5,600 円コース
 (税別、本体 5,000 + システム料 600 円)
 170 ページ、約 360 点掲載



10,600 円コース
 (税別、本体 10,000 + システム料 600 円)
 154 ページ、約 320 点掲載



10,600 円コース ページ一例
 生花ページ

株式会社ハーモニックについて <http://www.harmonick.co.jp>

1946 年の創業以来、新潟県三条市の地元産品である金物製品から始まり、繊維、陶器、食品なども取り扱うギフトの総合商社として数々の商品を届けてきており、カタログギフト、冠婚葬祭ギフト、法人ギフトの企画・制作・販売をしています。「喜ばれるものがおひとりずつ異なる時代」が到来した今、ハーモニックは、これからも「思いやりや感謝の気持ちをつなぐ」という変わらぬ使命を胸に、変わりゆく「気持ち」「時代」を敏感に感じ取り、ギフトをもっと楽しく、嬉しいものにしていく最善の努力を続けていきます。

株式会社日比谷花壇について <http://www.hibiya.co.jp>

1872 年創業、1950 年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約 200 店舗を展開。ウエディング装花、直営店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフトの企画・制作・販売、お葬式サービス、各種空間装飾デザイン・ディスプレイ、屋内緑化の設計・施工等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。今後も、さまざまな日常生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。